

単元名 事実を分かりやすくほくくしよう

配当時間 12時間

単元の目標 (1) 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解して使うことができる。
 (2) 相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にするとともに、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。
 (3) 相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、構成を考えて学級新聞を作ろうとする。

標準的な展開例

04010118_001

【教材名】新聞を作ろう／アンケート調査のしかた

(上 P. 88～P. 97)

【準備等】知多の友、新聞の清書用紙、国語辞典

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 学習の見通しをもつ。 ★読む人に分かりやすい新聞を作ろう。</p> <p>○身近な新聞を見て、新聞の特徴について気が付いたことを発表する。</p> <p>○教科書 (P. 89) を見て、新聞の特徴についてまとめる。</p> <p>○教科書 (P. 94) の新聞を見て、どのような新聞を作るか見通しをもつ。</p> <p>2 どんな新聞を作るかについて話し合う。 ★どんな新聞を作るかを話し合おう。 ○教科書 (P. 90) 「どんな新聞を作るか話し合おう」を読んで、グループで新聞の内容を話し合う。 ・何について書くか ・読み手に伝えたいこと ・調べ方 ・どんな話題を載せたいか ○記事を書く人を分担する。</p> <p>3 教材文を読み、新聞の特徴や作り方の手順、割り付けの工夫を学ぶ。 ★新聞の作り方を確かめよう。 ○知多の友 (P. 10) の学習の手順を読み、新聞作りの手順を確認する。</p> <p>4～6 取材の方法を話し合い、取材をする。 ★取材をしよう。 ○教科書 (P. 90) を読んで、取材の方法や注意点を確認する。 ○教科書 (P. 96) 「アンケート調査のしかた」を読む。</p> <p>○出来事や事柄を正しく伝えるために、どの取材のしかたがよいかを話し合い、取材の方法を決める。 ・見学 ・インタビュー ・図書館やインターネット ・アンケート</p> <p>○取材の準備をする。 ・見学の依頼 ・インタビューの依頼 ・書籍やネットの下調べ ・アンケート作り</p> <p>○取材をする。</p> <p>7 取材メモを基に、割り付けを考える。 ★割り付けについて話し合おう。 ○教科書 (P. 91) を読み、割り付けについて確認する。</p> <p>○取材した中から、中心になることや最も伝えたいことを考えさせて、内容に優先順位をつけさせる。</p> <p>○写真や図、表などの大きさや場所を考える。</p> <p>8～9 取材メモを基に、記事を書く。 ★記事を書こう。 ○教科書 (P. 92) を読み、記事の下書きをする。</p>	<p>・本単元は、「知多の友」に掲載されているので、十分に活用したい。</p> <p>・総合的な学習や理科、社会科など、他の学習で調べたことを新聞に表す活動に置き換えてもよい。</p> <p>・文字の多い新聞に対して、苦手意識のある児童もいるため、易しい内容のものを提示し、学習への意欲を高める。</p> <p>・知多の友 (P. 11) に書かせ、書いていないものが意見で出た場合は書き足させる。 【評】新聞の特徴を考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・グループごとにテーマが選べるように、出てきた意見を黒板に列挙する。 【評】友達と協力して新聞作りをする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・知多の友 (P. 12) を活用する。</p> <p>・知多の友 (P. 19) の新聞の例を見せ、見通しをもたせるとよい。</p> <p>・「取材」の意味を、教科書 (P. 159) を活用するなどして押さえる。</p> <p>・アンケートの目的や方法を押さえる。</p> <p>・自分が記事を書くときのイメージをもちながらアンケートを作ることを押さえる。</p> <p>・グループごとの活動になるため、教師は児童の実態に合わせて必要なものを準備したり、取材前の確認を行ったりする。</p> <p>・校外で見学・インタビューを行う場合は、事前のアポイントメントを行う。</p> <p>・知多の友 (P. 13) を活用する。</p> <p>・「わりつけ」の意味を、教科書 (P. 159) を活用するなどして押さえる。</p> <p>・知多の友 (P. 16) を活用する。</p> <p>・一番大きく取り上げたいものは何か、取材した内容を分かりやすく伝えるために必要な大きさはどの程度かなどから、記事の大きさや場所を考える。</p> <p>・何を言葉で伝え、何を写真や図などで伝えるのかを考える。</p> <p>・知多の友 (P. 17) に書かせる。</p>

○見出しをつける。

10～11 記事を推敲し、清書して仕上げる。

★新聞を仕上げよう。

○記事を推敲する。

○下書きを基に、記事を清書する。

12 完成した新聞を読み合い、学習を振り返る。

★新聞を読み合い、感想を伝えよう。

○新聞を読み合い、感想を伝え合う。

○「ふりかえろう」で単元の学びを振り返る。

【評】取材したことを基に記事を書く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
・様々な見出しを例として見せ、短い文章で最も伝えたいことが書かれていることを押さえる。

・教科書（P.93）や知多の友（P.18）を活用して、どのようなことに気を付ければよいかを確認する。

【評】下書きを推敲する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

・写真や図、表やグラフの特徴を明らかにしながら、言葉との役割の違いを生かして選べるようにする。

・知多の友（P.18）は仕上げる時に使うようにする。

・内容や書き方について、よかったことを伝えて、今後の学習に前向きに取り組めるようにしたい。

・「たいせつ」「いかそう」で身に付けた力を押さえる。

【 備 考 】